

昭和三十三年三月二十五日招集（第五号）  
第一回市議會議決例會議錄



館山市第一回市議会定例会々議録(第五号)

昭和三十六年三月招集

一三月二十五日(土曜日)

一議事日程(第五号)

報告第三号 昭和三十五年度三月例月検査報告

議案第四号 患者輸送用自動車への購入について

議案第五号 議案第二号文教民生委員会委員長報告

議案第六号 議案第三号予算審査特別委員会委員長報告

貴

一法第百三十一条による出席説明員

第一日目と同じ

一本日の会議に付く事件

議事日程と同じ

一出席議員三名

一欠席議員二名

六番 嶋田 繁 一一番 川名 房吉

午後一時開会

議長(山本 昇一君) 本日へ出席議員数三一名、これより第一

圓定例会第五日へ会議下開会いたります。

会議日程についてお諮りいたします。

本日へ会議に三月例月検査報告議案第四八号が追加  
議案として送付されました。

これより本日へ日程に追加し直ちに議題といひます。  
ことに御異議ありませんか。

(「異議ナシ」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇一君) 御異議ナシと認めます。

よって日程は追加されました。

本日の日程はお手元に配付の日程表により行います。  
日程第一報告第三号より上程いたします。

(書 記 朗 読)

報告第三号 昭和三十五年度三月例月検査報告

(監査委員川上 栄君登壇)

監査委員(川上 栄君) 本月の十三日に実施いたしました例月  
検査の結果、下御報告申し上げります。

二中におきまする市税の収入状況下見ますと、市民税二  
百二十八万、固定資産税七百二十五万八千円、たばこ  
消費税百五十一万二千円、電気ガス税百三十九万六千  
円、その他四十六万六千円となり、であります。

税外収入におきまする地方交付税が四百三十九万三千  
円、国庫支出金が二百三十一万四千円、分担金及び負

二 倉山町議会

担金、百四十七万四千円。使用料及び手数料、百三

十七万一千円。その他、百三十三万四千円となつております。

納期の列来分の二月末割合は、七九・六％でありまして、前年  
同期は、七六・九％で、<sup>(増収、収入)</sup>三・七％上昇しております。

二月末の市税の収入未済額の状況、下みますと、三千五百

三十三万で、その内訳は、過年度分の収入未済額は、千百

十三万四千円でありまして、本年度分は、二千四百十九万

六千円であります。さうして、内訳は、市民税が、六百四十

七万、固定資産税が、千六百二十五万四千円。都市計

画税が、二十九万八千円。その他、五十七万四千円となつて

おります。

支出の面、下申しますと、主なものは、二中校舍増築工事

分契約額、A三百四十七万、B五百四十八万九千八百円

に對する第二回分の支払が、二百五十万支拂を以てしております。

公営住宅の建設工事費六百四十六万円に対する第一回  
の支払分二百六十万 市債の元利償還金の到来したも  
つが五十八万六千円 利子が百十七万円でありましてそ  
の他計数につきましてはお手えの表へ通りであります  
す 又お特別会計につきましてはお手えの表により報  
告下省署まで伺っております

議長(山本 昇 君)以上で三月例月検査報告は終了です

議長(山本 昇 君)続いて日程第二議案第四八号

(書記 郎 読)

議案第四八号 患者輸送用自動車購入について

厚生課長伊藤幸太郎君 議案第四八号について御説明申し上  
げます

過日の追加予算におきまして承認いたしておりますこと

者輸送者へ購入でござりまするが、その後いろいろ検討い  
ろいろの結果、予算の範囲内でここに記載しよろしく  
も、バーも適当だということでもござりまするで千葉プリ  
ュス自動車株式会社と隨意契約によつて購入しようとな  
するのでもござりまする。

二五番鈴木市蔵君、市長さん、ちよつと伺つてみたいと思ひ  
ますが、館山市における自動車へ購入の問題ですが、私は  
前議会において中古品は困るから新車を買つてもういい  
ないというふうにお願ひしたもので、それがそのお願ひもかな  
わらず四十万で自動車を購入することになつた、たという議  
案でござりまするが、これについて、さ、お聞きたいと思ふ。  
とういうわけで、館山市においてはプリニスの自動車は、り  
購入するの、日本には現在自動車メーカーは相当ある  
へです、そのメーカー下を、下ねて自分へふところに合ふ



よく一変でも安いもの下い、もの下購入したいとい  
うお考えでも、てあうゆるメーカー下下ぬてみたか  
それともスッいふ隨意契約と説明がなか、たのですがや  
り今までの取引まの關係エプリニスへ会社からこの自動  
車を購入入ースか、この点も伺、てみたいと思ひます。

市長田村利男君プリニスへ同乗へ会社へ自動車ですと修  
理に便利とがいろいろ好都合の点があります。それはぬ  
まド―き―て今回中古品で患者輸送に一番都合のいい  
車下物色させぬけでございす。二三日前へプリニス  
へ現品下も、てさせぬけでございす。それが一週  
間ほど前へトヨエット、車下も、て参りき―て係員  
並に自動車運転手下加えき―て折衝させき―た  
ところ、<sup>の期待</sup>当する品物あるいは値段につまき―ては  
るかに違ふことぬけき―たのでまたほかへ会社へ

も前々よりなところ、当該自動車として適当な車がないというところであります。三、三日前、現品下技術者立合ひの上で調べる結果、このようは処置下とつてわけでございます。

○三五番 鈴木市蔵君 いろいろ、会社に肉に合せてということですが、私はこういう議案下ですと、もう少くも三社あるは四社へ見積り下とつて、こういうわけで、こういうふうにして購入して、のぞというふうなあからまじいところ、御説明願いたいと思っております。この点を要望いたしまして、質問下打ちります。

○議長（山本 昇君） 議案第四八号 討論省署原案通り決定いたします。御異議ありませんか。

（異議なし）と呼ぶ者あり

○議長（山本 昇君） 御異議ございとお認めます。

よ。て本案は原案通り決定いたす。

議長（山本昇 君）続いて日程第三議案第二号並びに第三

一号第一号として議題といたします。

本案は去る十日開催の本会議に文教厚生委員会に付託と  
なりました案件であります。

従いまするに、西案に対する委員会、審査、経過並び  
に結果について委員長、報告下求めます。

（二十五番議員小林寅之助君登壇）

二十五番（小林寅之助 君）報告に先立ちまして、私から御あいさつ方  
々御了承下お願いいたします。と思っております。

えど、この本会議にふりまして議長さんの御話により  
ますれば委員長が急病のため一日の本会議まで付託  
マハす。と事項につきまして審査、運びに参ります。

た。従つて本日まで在任日とむづうと私といふことは甚だ申し訳がない次第に存してあります。その点御了承のほどお願いいたします。なおさういうわけでございます。すので今日へ報告は私かういふです。その点につきましても重ねて御了承のほどをお願い申しとります。

去る十月の本会議におきまして本委員会に付託とせられた議案第三〇号即ち幼稚園保育料増収条例の一部改正正する条例の制定、並びに議案第三一号青年学級授業料増収条例の一部改正する条例の制定について、委員会におきまして審議の経過並びに結果を御報告申し上げておきます。

さて保育料増上の件につきましては本会議におきましてそれについて活発かつ適切なる発言がなされた通り、本件につきましても慎重に審議いたし、次第でございまして、

了。幼稚園料値に對する市費持出額並に、過去  
に於ける決算額等の説明を求め、ついで、市  
費持出といふことは、小学校は一人、四、八、七、月  
幼稚園に於ては一人、四、六、四、月、従つて幼稚園  
一人當り小学校より三、一、五、三月多く支出して  
ゐること、より尚決算に於ては、三、三、年、初に  
おき、三月は保育料が三、〇、〇、月、市費持出が三百  
二、丁、二、万、四、千、月、三、三、年、初に於ては保育料  
同じく三、〇、〇、月、市費持出が三百、四、十五、万、七、千、月、  
三、四、年、初に於ては保育料が三、〇、〇、月、値上げに  
より、三月、四、〇、〇、月、市費持出が三八、八、万、四、千、月  
以上の通りであり、尚、果下十八市に調べる、と、幼  
稚園を設置してある市は、銚子市で五ヶ所、野田  
市で一ヶ所、松戸市で一ヶ所、佐倉市で一ヶ所、八日市場

市で一所 本市といふところ十八市のうち幼稚園

をもつてあります市は六市でござります

その他市におきます保育園料は銚子市で保育

料五〇〇月 柴収月数は十三ヶ月分 入園料五〇〇月、

野田市は保育料五〇〇月で十三ヶ月分 松戸市は保育

料五五〇月で十一ヶ月分 入園料四〇〇月 佐倉市は

保育料五〇〇月で十三ヶ月分 入園料四〇〇月 八日市

場市は保育料四〇〇月で十三ヶ月分 本市は本来

によれば保育料六〇〇月で十一ヶ月分 入園料は柴

収いふところとで銚子市と比較いふところと一

〇〇月多いというところになります 保育園にいたる

ところ 九重保育園の最高は九〇〇月、館山では

八四〇月 柴ににおきますところは一、二六〇月のところも

ござります、ほりに二〇〇月を増額いふところと

市の持ちこたは三百二十一万八千三百円とあり、右ようど  
三二年の決算額に等しい額となるわけであるといふ  
下、旨の説明があり、すゝた、

なお金世帯に対する幼稚園該当者の比較はどうか、  
ていゝかとの質問に答へては、一応説明はござい、す  
ゝたが、本日印刷の上、お手元に配布いたしてござい、す  
ゝた、と承願いたします。

なお館山市全般とみますと、金世帯数一三、九八七に對  
し、該当園児数一、二七七人、入園予定園児数八三一人  
即ち一三、九八七世帯に對し、該当園児数の割合は五、  
五％、金世帯数に對し、實際の入園、予定園児数の割  
合は六、三％であるといふ、市全般からみますと、幼稚  
園に該当する者は表でおわりの通り、わずかであ  
る旨、答へがあり、すゝた、

これに対し、さういふの計数をお聞きますと神戸  
 高崎地区は入園希望の率是非常に多い。これは  
 保育的の幼稚園ではないか。これら下考えまして  
 この際でもうだけ保育園に切り換えたかどうかとの  
 意見に対し、まして理事者側より執行部といつて  
 ましても望むところではございすが保育園とい  
 ましてすには人数等の制限がありまして六十人か  
 一〇〇人位この園児一人きりの六坪下もつという利  
 約基準があるのではございます。

なお館山市は保育園の数が多いいという事でありま  
 して増築不ということはなか、困難でございします  
 まうに市自体のう考えますならば現在態形にございま  
 す東京都立安房児童学園が近く廃止になり、こ  
 り入、ましてあります園児百五、六十人の措置も考  
 えてござい





## 一 釧山市議会

リやとの傾向に於いて三六年におきましては八三一人入園予定として五三として三六名の減を計りまして値上げによつて更に減ることを考へておりました。ところが減つていくような場合は御趣旨の通り保育園に切り換える事が望まれないが将来は事務当ると議会で合同委員会というもので設置して協議する機関を作りその上で決定していただく。今これに廃止するといふ意思のない旨の答弁がありました。

その他活発なる質疑等も行われ、このご意見を踏まへ結論として委員会として三六は諸般の情勢下勘案いたしましてやむを得ないものと認め先に申します通り幼稚園運営に当りましては父兄への負担軽減対策と設備の充実に格段の御

努力下要望いまして原案通り了承した次第でございます。

次に青羊学園授業料並収束例、一審で改正する条例の制定につきまして、主青羊学園と申しますと大体豊務にばうれてあるわけでございます。そして幼稚園の値上げで原案通り可決していただくわけでございます。で本案につきましては原案通り承認してわけでございます。

簡単であります。以上下もろろしては託議案に対する文教民生委員会、御報告下終ります。

議長 山本 昇 君）以上で委員長、報告を終ります。

さういふの報告に対する御質疑ございませんか。

○三六 豊田貫壮作 君）さういふの結論は全会一致でございます。それでさうか、それとも反対意見があるのですか。

それのうち一つは質問に対する答弁はよくわかりました。その内容についてあまり御説明がないように思います。まず、その点下回ります。

二五番 小林寅之助君 本委員会、決議は満場一致でございます。内容の説明と申しますと中には委員会の議題となつたものもございます。―― 委員会、議題になつたものもございます。―― 従つて委員会、議題となつたものにつきまして、―― はご答弁よろしいですか。―― 申すけれども委員会、議題になつたものにつきましては、―― は私から御答弁する筋合いではなからうかと存する次第でございます。

二六番 鴻貴壮作君 議題になつたものでございます。

二五番 小林寅之助君 そうですね、申すエグゼキューティブまで別紙の調査書にもあります通り大体これが見体的な内容であつたのでございます。

三六 豊嶋貫太郎君 それに質疑とてなされたものであつて  
会自体の意見とは少々違ふと思ひます。この点にか  
かひ——うか、

三五 豊小林寅之助君 もらう人この資料は委員の意向に  
かゝつて提出されたものでございしますがその資料を基礎  
として委員はる、検討して結果満場一致の結論を得  
た次第でございます。

三六 豊嶋貫太郎君 そのる、御検討はさつたこと下にお尋ね  
してゐるのであります。

三五 豊小林寅之助君 検討の経過につきましては、  
報告書で大体つまるものと考へております。

三六 豊川佐太郎君 たいいす三六番議員の意向下いす、  
具體的に申しあげらるうは、この過程において全員が最  
初から一致してミレ下可決するといふやうな氣持で

あ、でも、中々五百説、エリナイ方がというふうな内容のものがないか、とかというところをお尋ねいさうま。

それと最後に、当局は観設備に努力するというふうなことで、一々突進しなぐずするやというところまで加えすか、とか、第三点として幼稚園の設備は、私は実に微々たるもので、文部省に規定されるもの、何名かという点に、当局に、お聞えう、とか、どうかお尋ねいさうま。

○五番 小林寅之助 君　　「はい、ま、お尋ねに、うう、ま、ま、委員、会として、初め、かう、出来、に、直接、へ、先入的な考へ、でも、ま、臨ん、でも、ご、ご、い、ま、せ、ん、で、それ、に、御意見、を、南、陳、して、下す、か、で、ご、ご、い、ま、す、け、れ、ど、も、結、局、は、こ、に、あ、り、ま、す、迎、り、諸、般、の、情、勢、を、勘、察、い、さ、う、ま、で、や、お、下、得、る、と、認、め、て、こ、の、点、に、つ、い、て、は、万、場、一、致、で、決、定、し、な、れ、け、で、ご、ご、

います。施設のことその他につきましてはやはりこれも  
なっています。報告の中に織り込んでありますように二  
百円アップするということは人件費の増へカバーするの  
が重点であるが、希望の占一も具体的にほとんどどうす  
るというふうなことはあります。これにつきましては  
しては当る。御意向と同じ、ていなうかと思ひます。

〇二番(黒川佐太郎君)当るに御説明願ひます。

・教育長(工藤和幸君)幼稚園、設備、充実状況でございますが  
これは学校によつて幼稚園によつて格差があるわけでござ  
います。これにはやゝ不満でございます。お話し  
のようにな甚だ貧弱で申しわけないでございますがそれ  
ほど幼稚園の費用が困難なわけであるというのが實際  
でございます。

〇四番(飯内義男君)委員長さんに伺ひますが、この二百円アッ

づる場合にどういふ過程を経てどういふ説得と申しました。うか、どういふ理由で上げるのだということが一般の父兄にまでよく達して父兄、納得下得てや、そのかゝる前は百円だけのアップであつたのであります。その時に早川委員が非常に努力したといふことと、これにけれども、今度そういう、その点があるのか、そういう問題に言及されたかどうか、それについてお答え願ひたいと思ひます。

二五番(小林寅之助君)その点につきまして、これは父兄のお説を一つお尋ねいたします。

二四番(飯田義男君)結局そういう意向は出たか、なということについてお尋ねしますか。

二五番(小林寅之助君)そういう意向はできません。

二四番(飯田義男君)これは委員長にこの問題について言及する、はどうかと思ひます。当局に伺ひたいと思ひます。



議長(山本 昇 君) 当局から説明をします。

教育長(工藤 和平 君) 回答をいたします。

積極的に関心のある意見は聞きますけれども、それによって新  
聞等によります。その反響をみますと、それによって  
何ら反響もございまして、それで大体的に解というふうな解  
釈とわけをございします。

議長(山本 昇 君) 以上でもよろしい。委員長の報告に対する  
質疑は終りだと思いますが御異議ございしませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇 君) 御異議なしと認めます。

よって質疑は終結いたします。

本業に対する討論はございしませんか。

二番(里川 佐太郎 君) 今回の幼稚園費の五割の増は私適当  
なことではないというふうな考え方をもちておられる者の一

人でございます。と申します。はもし二百円増加する  
 ならば會々家庭の子供は就学でまないと。いうような  
 結果下招来するベースアップによるものであるという  
 ことになるとますます増大は増大しよぶという結果下  
 招来しないか、なおります一方そういう家庭の子供ほど幼  
 児教育が必要ではなからうか。こう考えるものであります。  
 教育ほど職下向めず地域下向めず市政がまんべんな  
 く普遍性下も、て還えせられるものは他にないはずで  
 あります。そうして意味においても市が一%やそこいらの  
 市費下幼児教育に注いでも決して僕は誤る方向で  
 はないと信ずるものであります。さうに申し上げるな  
 らば館山市においては館山高校下も、てあります。館  
 山高校に就学してある子供下みずさい。三分の一は  
 館山市以外へ地区から通学してあるではありますせんか。

とりもなおさず館山市費において館山市以外の子供  
を教育してゐる。その館山市が貧乏人の子供に幼稚  
園に就学できなくする、というふうなことは私所得  
できない点であります。おそく今回六百円にした  
らうば、下や市民は議会あるいは市当局に非難す  
るだらうと思ひます。政治というものは爲政者下  
の信頼させることが根本であり、また最も重要な点  
ではなからうかと私は思ふのであります。さういふ観  
念からいへば、さういふ今回は固定資産税が増嵩す  
す、さういふ国民健康保険の保険料も二・数パーセント  
増嵩するのであります。このときになりまして、また  
幼稚園費を増嵩するといふことは時宜に得る措  
置ではないと思ふのであります。さういふ市当局  
は幼稚園に對す拡充ということ下考へさうに同僚



——さういう努力が今回されるか、と。というところ  
私は非常に残念に思います。将来當局が設備の充  
実あるいは給食の負担の軽減について努力をするとい  
う言質もいって下さるのでそれによつて一応と  
一本案に賛成いたします。

議長(山本 早一)君以上で討論を終ります。

これから議案第三号三号下一括採択いたします。  
兩案に対する委員長報告はいずれも原案可決であり  
ます。

おけりいります。兩案下委員長報告通り決定  
いたします。御異議ございませんか。

(異議なし)と呼ぶ者あり)

議長(山本 早一)君御異議なしと認めます。

よつて議案第三号三号は原案通り可決されました。

暫時休憩………

午後二時四五分 休憩

午後三時五分 再会

議長山本 昇一君(休憩前)に引続て会議再開します。

日程第四議案第三四号乃至三九号下一括議題といたす。

これより大議案に対する予算審査特別委員会における  
審査の結果について、の委員長報告を求め  
ます。

(二五番議員鈴木市藏君登壇)

二五番鈴木市藏君(去る十月の本会議におきまして予算  
審査特別委員会に付託とありました昭和三十六年

各会計予算案につまして委員会におきまして審議  
の経過並に結果下御報告申しをります。

委員会は三月二日招集し、まず昌碩において皆様の  
御承認下得まして委員長は不肖私、副委員長  
は田村議員と相勤めることになりまして、

本予算は先に市長説明があり、その通り昭和三十六  
年分は基礎がためのできて新しい大館山市建設五  
年計画下実施する第一次年分になり、将来市発展  
の飛躍的態勢への諸準備を整えていく年分であり  
まして前年分の当初予算額に比し六千四百三十万円  
の増即ち約二〇名の増強率を示してあるが、まだ一  
全国的な経済発展のすう勢力からすれば規模は小さく  
このに伴って性におきまして自主的財源である市  
税によるよりも地方交付税等いわゆる依存財源によ

るところを大きく従へて支出面におきても将来発展の基礎となる事業に多くの予算を振り出し、消費的経費は最大限度にとめて縮減されるのであります。従つて委員会におきまする論議もこの観点から活発かつ活汎多岐にわたり、つて慎重に検討される次第であります。

以下委員会におきまする質疑応答等整理いたしまして、その要点を申しあげることになります。

まず一財会計支出におきまして土木費中治水堤防費については二〇〇万円しか計上してないが市内においてまだ一堤防もつたばかりではなないか所があるが、せめて二〇〇万円は計上してないかとの質問に対し、市内にある河川と申しますと大まかものは千之里川、境川でありまして、これは河川法に適用されて工事を果す



維持管理としてあります。

その他の河川においては

それほど大きなものはなく、現在のごとく施設を必要とするところは少ないと考へて存目計としておわけしておりますが、災害等おこります場合には必要予算下追加して実施していただく旨の答へがあります。又用水路についても夏期等に足りずと大部は人うんす排水溝がみうけられるが、本予算下みるとわずかに三十万の計としてはいささかの程度の手算で排水溝の整備が出来るかどうか、又当局としての根本対策はどうかとの質問に対しては排水溝等に關しては都市計画事業の中においても年々実施してあります。例えは新井地先排水路、市役所裏の排水路等はすでに完成済みであります。その順次用水路については整備していく考へである旨の回答があります。

次に公園整備費に關連して最近・新聞紙などに於ては果  
下において国や果の補助対象とする児童遊園地設置  
下実施したところを果下とするに十一市あるというが  
予算をみるに井上ではないように考えられるが、これ  
が、一、あるはという考えでも、ているが、又この内  
容について説明願いたいとの質問に對して遊園地と  
申しても法律によつて規模等に区分があるわけであ  
る。現在子供の場合、程度、もの、十一ヶ所設けて、エーブラ  
ニコスベリ台という、に設備費は予算に計入して、より  
ます。この正式に児童遊園地という名をもつたもの  
には児童福祉法により最低の坪数が三・〇坪とある  
いは遊具がひとついうものであつたか、こつういうのが、まじつ  
てあるのは児童福祉法によるものでございまして、館山  
市においても国、果に對して、ついで折衝、い、ついで、ついで

本市は遊園地や子供、遊び場 中村児童公園等  
ができてゐるため、この様な施設のない市は優先されて  
補助しうけ実施されて下ります。が現状で以上のよう  
な理由のもとに、なにか施設のあるところは、あとをゆ  
けさせてゐる。第一層、国果との折衝も重なり、一日も早  
く遊園地の設置に努力する旨、答弁がありました。  
次に教育費におきましては、本年最も管轄費が多く計  
られてゐるようだが、従来学校建設等について、良心的で  
ない工事をしてゐるものがあるところ、この多額な  
予算を執行する担当課においては、工事設計並に施  
行に当っては、慎重かつ充分なる監督をお願いする。  
このようなくと下考するときに、現在、館山高校に教員  
として席するもの、教育委員会へ囑託として工事  
設計、監督に當つてゐる。これでは重要な職務を遂行

へ上にも期待をかけるのは無理ではないのが、執行部として御意見下取りをいとの傾向に却つて、学校建築について不備な点があることと反省している。その後におきましては、館山小学校建築の際設計と施行に違つたという厳しきあり下うけまして、今度は学校建築という点につきましては神を過敏になる程注意して監督して参つてゐるわけでございます。なお建築技師のことにつきますと、これは委員会には技師下一名おくことになつておる立前工と又理法において、は市で施行するものよりも学校関係の方が設計工事の数が多いため、この様な状況でございます。つて、本件につきましては、これは教育委員会というところからして重大な問題でございます。すので研究はいたしまして、平素でございますが、結論のでないのが現状でございます。

次に營養費にありまして修繕料はどきどきの学校がと  
いう質問に對しまして、修繕料は本予算が通りまして  
なうが各学校下視察いづれ重点的に実施していく考  
えでありまして特定、学校名を申し申せない旨の回答が  
ありまして、

次に青少年健全育成費につきまして当市は消極的指  
導と思われている様なフィルム借上料等に予算が多く計と  
されてあるが館山市にもボイスカート、様なものができ  
たとよくがみの様な青少年、健全なる団体へ市として  
補助育成する意志ありやとの質問に對しまして青少年  
の健全育成という事は全国的な問題として特に千葉県  
にありまして昭和二十六年度の社会教育は青少年健全育  
成一本にしほつてやるという方針を打出てあります

本年において果てはいくつもの助成地区下設けて安房

郡では、鴨川千倉の二地を以て、助成を以て、行います。青少年の犯罪というものは、予考えてみますると犯罪というものは、陰には必ず家庭の環境というものが大きく左右されるのであつて、これは青少年の問題のみではなく、むしろ家庭というものの力を入れなければならぬといふことと予考えて、一般に肉に下高めるため映画フィルム借上料その他の負担よりも多く料を以て、わけてあげます。なおボリースカート等の団体に対する補助金、件でございいます。社会教育法の改正法により補助金は、ございもよいといふ事になります。予考えて、予館山市の場合は予算的には計としてあります。予備といふことで、めんどうをみまかり、なお予算の範囲内で育成して、いまといふ回答であります。

次に、緑地埋設建設について、土地の買収の請合は、付す

んでいるか、又付近の住民に被害を与えたりする場合、市  
としてどのような考え方をもち、しているかとの質問に対し  
「土地買収という事につきましては所有者の方々に内諾  
を得たものは得ている、なお補被害による補償というも  
のにつきましては現在立案の段階におきまして被害のな  
いことと前提としていろいろ検討をいさして、もつ将来に  
へ事態が生じました時には調査の上善処したいと思いま  
すが現在という事は、ましては全国的にデーターをとりま  
して被害の少ないというものと実証されたい、ましては当初予  
算においては計上してない、11月の答弁がありまして、  
水産費に於いて負担金補助及び交付金が一十萬七千円  
計上してあるが、過去よりふりかえてみるに、商工水産課に  
技術員がいはい、ためら仕事は不十分であると感じて  
いるが、技術屋を入れる意志ありやとの質問に対し――

て現在水産課には増殖の技師一名あります。土木  
建築の方の技師屋はあります。せんので工事設計の面につ  
きましては建設課の応援を得ておるわけでございます。  
が今までのところ、そうまいに支障もなく参つております。  
ので今一はうく現在、まゝ、ご承認いただいております。  
の答弁であります。

次に観光費におきまして、本年予算みるに新理事事業  
並に施設というものが全然みられませんが文化都市観光  
都市として伸びんとしている当市において観光費には  
あまりにも貧弱ではないかという質問に対して、本年交  
付におきまして若干の新理事事業もございまして、  
すば本項にのさす。観光費は大体維持管理にまかせ  
るものと御承認願いたい。この答弁であります。

次に市税におきまして、昨年度より一七六九万余円



増となつてゐるが、この原因はなにかとの質問に対して  
てまじつたものといつて、――市税に下りては昨  
年の伸びと又固定資産税に下りては評価替へによ  
るもの、変えがス税に下りては使用料の伸びである旨  
の答弁があり、――

入湯税について、館山会館ができたが依然として昨年同  
様の額に計り、――がその理由は何かとの質問に  
対して、――入湯税については本予算では館山温泉しか計  
上しない、館山会館に下りてはまた温泉法の適用下うけて  
いないため、この事ができない旨の答弁があり、――

次に特別会計休養施設、部に下り、――で、樫山荘の増築工  
事請負費が予算に計上されてゐるが、その後ユースホテル  
の問題は立消されてゐるが、どうなるかとの質問に  
対して、ユースホテルは果して施設があり、――で市の施設で

一 創山市議會

はい、これは、やはり申しエグうれいせんがユースホテルは子供を対象として旅館というふうなものでございまして、樫山には隣りではどうかというところで他に適当な敷地があれば幹旋旋して欲しいと、事で三候補を選ば果しみる参、へであります。まだ確定はしていません。せんが大体館山市に設置したいという果の意向であるとの答弁であります。

次に国民健康保険について昨年と比較して本年はどのような状況かとの質問に対して、三五年分は一世帯当たり四、九二月のもが本年分は大体五、一ヶ月でございまして、昨年より約一ヶ月の増と見られます。一人当りは三五年分は九、七ヶ月で、本年分は三、六ヶ月分は、一八九月、延いて一人当り二、二ヶ月の増の見込みでございまして、この答弁であります。

その他いろいろ活発なる発言並に質疑応答がなされ  
のであります。委員会といふことは各予算執行  
に当りましては常に市民の福利増進ということに重点  
をおかれ行政の効果的運用に努力研究下されまして  
市政伸張のため万全下期やうれすよう強く要望いたし  
ましては託すうけまして議案第三四号乃至議案第三  
九号は原案通り可決すべしものと認めまして次第で  
ございまして

以上でもちまして本委員会におきまして審査の至  
過並に結果の報告下終ります。

議長(山本 昇 君)以上で委員長長の報告下終ります。

次に委員長の報告に於て御質疑ございせんか。

○委員 脇田 順一 君)委員長さんにお伺いします。畜産  
奨励費の中に館山酪農協同組合に対する補助金二十

不用であることになつておりますが、これでもう少し私に深く  
 掘り下げてほしいと思うのであります。と申します。うは農  
 村方面におきまして、ともかくのこれに対する疑いがある  
 のであります。といふことは、この館山酪農協同組合の背  
 後に、たゞて援助といふ、すなはち援助の程度なる結構でと  
 思ふのであります。が、グリコへ会社が相当力を入れてある  
 まへ、酪農協同組合なるものは、それは皮だけであつて中  
 味はグリコへ会社へ全管によるものであるといふ声があ  
 るのであります。そういうことと館山市の乳下  
 扱ふところではありますけれども、営利事業の会社に  
 補助金下すといふことであるならば、まことに許されな  
 い問題だと思ひます。さういふ疑義があるのであります  
 が、特別委員会の席上でさういふ問題が論議されてい  
 へば、さういふ疑義は、その辺の説明をお願いし

たいと思います

ニ五番(鈴木市蔵君)たいいよニ番議員、質問に答へ

います

委員会といつては論議はされません

ニ番(脇田順一君)了解いたしました、執行部にお尋ねした

いと思ひます

農産統計課長(吉田耕一君)館山酪農農業組合補助金二十万

円の件でございますが大体趣旨等につまづいては先般

の本会議に申しあげましたので、いまの御質問の三点に

ついてお答えいたします

第一点の館山酪協に於てグリコが力を入れているという

ようなことですがどうかという点でございますが館山酪協

に於てグリコは力を入れております、次にグリ

コの経営によるものかというような点でございますが

これは決してグリコへ全管ではございません、あくまで  
も昨年の一月に認可を得まして法に基きまして発足  
いたしまして、団体でグリコ会社の全管によるものでなく  
独自に館路の運営でござります。

三番目の会社全理とするならばよくないということではござい  
ます。御質問の通りでございまして、私たち指導部面

といざうしてもそうであつてはいけないう考え方  
から最初のうあくまでも法的館山路農の協同組合と

その指導として現在申上げているような次第でござい  
ます。一時的な現在というくの大まなメーカーの力も強

くございまして、館山路農民の全部に把握することが

困難なまゝにしているわけではございます。しかし路農の考え

方進み方等は大体へ。その程度は私たちの精神に賛成し

てあるというふうに確信して、まゝあります。今後です

ます。この時代に沿って、また農業基本法にあるいは協業化と  
いうような線に沿って面にも、て参りたい。このように考  
えて、そして組合員三三名下基礎といつて、そして指導  
してある現状でござります。

○三番 脇田 順一君 グリコと協同組合との関係について、さうく  
承りたい。グリコ会社は、あの組合に二百五十万の融資を  
してさうでありまして、それは単なる融資であつて、利  
息をとつて償へてあるのか。それへうブリコがその牛乳  
下との点へう買上げてゐるのが、酪農者へかへうグリ  
コの名義に於いて牛乳を買つてあるのであるか。グリコ  
と協同組合との関連、もう少く承りたいと思ひます。

○農産統計課長（吉田耕一君）お答えいたします。

グリコと館山酪協との関連でござります。が御案内の  
やうに、館山酪農農業協同組合が認可されて、そして

その向におまゝ——と私の新農山漁村の振興というふうなものにあらうみ合はす——と、府州の酪農特産館山の酪農の振興というもの下とり上げにあらうといたします。そう——に観点をうらうら——と、同の審議会あるいは果の審議会も通過——と——と、この事業は採択にならうとわけておまゝ——と、この事業の採択方法という——と——と、融資と補助二面ござい——と、そのうちの融資事業として採択にならうといたします。その後直ちに融資申請等下——と——と、それと同時にあくまでも館酪——と進出するのは一日も早く地元に集めるということが、まず館酪下組織する上に一番有利だ、という役員等々の意見もござい——と、その意見に沿って結成後集乳販売という面で協議——と、わけておまゝ——と、府州への進出も大々な明治森永共乳あるいは雪印という四大



メーカーにおのく教回にゆかりをつけて話し合い等下  
市役所におまうして実施にやうなわけでございます  
そうして入るメーカー等は決して私達の考えておる  
乳価というやうなものには関心をもつてくれないうい  
うのが事実でございます。従いましてよく検  
討してあります。過程におまうしてグリコ乳業とい  
うやうなものがあるということから面会下求められて  
役員会の席上でグリコの会社から専断が参りまして  
その後教回にゆかりをつけて契約というやうな隙に話  
し合いつけるやうでございます。現在の房州の乳価一  
升四七月というやうなことで四メーカーに付ましては  
その当時それ以上買ふことができないういことござ  
います。ましてその時のグリコの話し合いが乳価下  
それ以上に買ひたいというところからこの契約を運んだ

けりてございまして私もあくまでも現在、乳価四七  
 月には生産者に安当り値段ではないんだという観点  
 から乳価下も、と高く売って酪農者の採算のとれる乳  
 価にも、っていくんだというのが酪農協の考え方であらう  
 了。それで役員の中にも四メーカーにだてておる人々もご  
 らいます。が全部白紙にもどして、このグリコと酪農  
 法に基きまして一年の契約を結んであげてございまして、  
 そうして融資を受ける手続も完了して、そしてまた  
 現金化するということはできません。細今更からの出資  
 もなかなか意のまゝに集まりません。で現在三十万数  
 千円集まって、そのうちがなおそうして関係で新農山  
 の融資計画に基いて処理場の建設を、うけてはいかぬと  
 いうことでございまして、その処理場約五百万円を具へ  
 たりして、それを用いて、その事業に着手したため

けでございます。着手する前にグリコとの契約に基き  
て融資願ひくるまで融資を願ひたいということか  
う心よく引受け願ひます。てそうしてあくまでも会社と  
酪農協の金銭の貸借関係でいくということでも市もは  
まりと支払います。というふうに契約されたいでござ  
います。グリコにはまだ利子は支払ひしてありませんが  
利子二ヶ月分までございます。なお産乳はどいえ売って  
くるかということでもございます。が細合員から集められ  
乳は館山酪農協が買受けまして館山酪農からグリコ  
会社に販売するという形をとつておろすでございます。  
借りましてお金は大体二百二十八万程を借りておりま  
す。しつこい金の金はすべて融資でなければ、お返  
しするということになつております。昨日の連絡では四五  
日うちに金がでるという回答でございまして、三月

甲にもしまねいばでま得れば、利子の免除を——でいたいく  
 という約束になつて下ります。今回の補助金は二十万円  
 もかぎり多すぎるといふうにも考えて下ります。何  
 とかその程度お願いいたして——して一日も早く酪農協の  
 発展していくようになお酪農民の福祉が増進するよ  
 うにと考えて——をお願いいたしてわけでございますので  
 まづ——くお願いいたしたいと思います。

三委（脇田順一君）大体わかりました。そうするとガリコ会  
 社はこの細合の單なる取引を会社にすぶないと解釈し  
 ていいですね。

農畜統計課長（吉田耕一君）その通りでございます。  
 三。委（養生田十郎君）まづ予算審査特別委員会の御苦労  
 に対して敬意を表します。

まづと委員長さんにお伺いいたして、まづが先ほどの報告で

学校、管轄費の問題です。予算へ可成後、視察下  
して重点的に管轄ヶ所下まめるといふ御報告があつた  
のであります。予算の編成に當つては、それ  
の個所を視察してウェイトの高いところから予算化して  
も、つていくということに相なると、私どもは信じてゐ  
ます。予算のさういふところ、勘定の考へ下も、こ  
いろように誤解されるふいがあるわけですが、その点に  
ついて度々あつたやうな願ひといふことが一つ、  
それのうも一つ休養施設であります。先般の市会に  
おきまして、私千四百万円の新しき金に投入されるわけ  
です。このため、審議する資料として、今までのバラン  
スシートを拝見したいといふことと下申してあげた。それに  
して、私どもの納得のいく御答弁がなかつたのであります。  
が、この点について何か御質問があるかどうか、

第三点は市税の肉題でありまして、予算面にお  
ましては収入面と過半を繰越金として五百三十万  
の計上されておらない。しかも監査委員の報告によ  
りますと二月末現在ではすでに三千五百万の滞納が  
ある。これについての的確性といふ事は、確実性とい  
うものについて何か委員から質問があるかどうか。

第四に委員長も御報告なす、これら処理問題で  
あります。地主が内諾したという御報告がある、  
その中で同時に各地のデーターに基づいて当局の  
答弁は、いわゆる被審というものは誘発するおそ  
れはないというように答弁がある、  
その中で地主の承諾といふことは第一候補地とい  
う問題に相なると思ふのであります。また、  
この問題について意思の表示があるかどうか、  
以上四点についてお伺いいたします。

。二五 豊鈴木市蔵君 第一に學校の常務委員の問題ですが  
私も委員長としてまた委員会の各位におかれましては  
おそうく教育委員会はいんぱり勅定は——ないで——ようと  
それ下傍ド——て委員会として認め、次第でございますよ  
次に惣山荘の問題で丁がめれ——委員会として各款に  
め、て審議して参、たものでございます丁がめこの問題は二  
。参議員のす、た本会議に於いて箇内されてゐるといふこ  
と下考え、——結果その問題については追及——せん、  
次に市税の問題で丁がめれ——委員会として、ま、ま  
答弁——は、う、た、と、ま、でも市長さん並に各課長さん下  
傍トて、——て、さう、いふ、こ、と、は、ない、と、考、え、——て、その、点、は  
追及しません、  
第四に、し尿処理について、は、箇内、は、あ、た、た、の、で、す、が、その、内

諾書は、委員会の考、え、は、こ、と、を、——で、い、ひ、ま、す、故、に

主たる契約書というふうなものではなく、単に内諾  
的は程度でも、委員会として止めてある次第でござ  
います。

三。香（森生田）郎君 今まこれの予算の全面的な賛否の討  
論に入るわけですが、その前提として承りたいのです。大  
体いふ申しで、諸点につきまして、学校管理費の問題  
は了解しました。が、その他につきまして、ある答弁を  
求めよう。——いかにうか。

三。委 於本市蔵君のわけは、そのように追求されますと執  
行却じやないからわけあります。人が委員会としての審議は  
できるわけ。人は、マヤ、マヤのです。が、そのようは、質問が  
あつたならば、議会運営協議会は二日目という質問下と、  
である。それ下で、下場一致でも、委員会に付託下  
——たかということが、質問——たかあります。そういうよう



なことをあれば今後二日間の一般質問の目数はとつてあるから、ぶりと御質問して了解を得る方がよい、じゃないかと解釈してやります。

三。養教生田七郎君) 和の申しと云ふことはこれへう討論に入る資料として市書局にお伺いでよろしいかどうかというのと、議長にお伺いしてわけでありまして、その点は委員長の方で説明、はいというふうに願っています。

議長(山本 早 君) 二。委員長の質問に対して、きょうの答弁を求めます。再び質疑に入らばいいようにお願いいたします。

市長(田村利男君) 旭山荘のプランニングシート 作製できました。このでたいまに配付させたいと思っております。

議長(山本 早 君) はい、よろしく配付いたさせます。

(資料配付)

税務第三課長(多田俊一君) 市税への滞納陳越の更正みつ

して三五年おの度算見とみからいてして滞納繰  
 越金といふして大体千四百六十万円程度みてあります  
 これに却て徴収に努力して大体五百十二万二千円 三五・五％  
 でございますしてこれを見とみてございます

明かしくといふことは以上の努力で、  
 このように考えておる。

厚生課長伊藤幸太郎君——尿処理の問題でございす。最初の内諾書へ件でございす。これは所有者の方々と尿処理の同意につまましていうくと困っている事情下お話し——ましてまた場所という——これもそれの方々とお持ち下さる。ある土地はいろいろ面から非常に適地だということ新定する。それとわけです。市として尿処理場を設置する場合、その土地を提供している。その意思があるかどうか、かようなことをお話しして——結果、一応市の状況下おくみ下さい。

まゝと努力下いづゝまゝというふうないわゆる内諾

程度でございましてまだ正式に契約等してありません

三四番(松本 藤太郎君) 国民健康保険についてお尋ねいづゝ

ますば最近 非常に物価が上り上りに上つておるわけではござ

います 国民健康保険も被保険者一世帯者が四千七百二

十四月という数字まであります くれについてお尋ねし

たいくとは素人考えで保険給付は総額が五十三百二十八

万余月になっております この給付総額の半分が二千六

百六十四万円で保険料の収入が二千六百六十四万円でい

いのじやないかということがでるのですがこの予算でみま

すと二千六百万でなく二千二百五十万オーバーするとこ

ろの三千八百二十六万という保険料の収入額になっておるわ

けですけれどもこの点について御質疑があればかどうか

三五番(鈴木市藏君) そういうものも含めた復元に入つたのです

バヤリというふうな質問でも条例改正しないことには  
これは困るというふうな答弁でございます。

○三四番（松本孝郎君）この点について私もううう内容が  
知りたいたのですが、尋ねたいと思っております。

○大平君の国民健康保険の賦課率下市会が初ま  
った当初市長さんもこれについては国民健康保険の危機  
とはい、まやんがそれと似たような表現で国庫補助に大  
いに期待してなければならぬということと非常に強く  
おっしゃるわけでございますが、それは了解い  
ております。また賦課率下百分の九・八、九・三とい  
うふうな非常に下げてある、相当な額を下げてある  
のではないかと思う位、実際に努力を怠っていることは認  
めます。しかし今申して、通り保険の給付で

すぬ　これの総額が五千三百二十八万円　その半分の二千六百六十四万でいいじゃないか　さういふふうを考へますか  
その点課長さんに伺います

。保健課長（神作善次郎君）お答えいたします。

これは療養給付費及び療養費　それから療養手教材  
に含まれるものが五千二百四十六万一千円、賦課総額になるわけでございます。

。三四番松本藤太郎君　さういふことがさういふものは  
国庫の支出金あるいは補助金というもので一切まかなって  
実際に医者にかかると半分だけが入ってくるというような  
数字になると非常にいいわけなんです。中にはいろいろ  
技術的な面もあるわけですね。これも今こゝでは条例  
下か上かというところは申しあげませんが市長さん  
もおっしゃってある通り、これについては非常に今多額

は生活費がでてゐるわけにて私ちよゝと調へたのです  
 が義務教育へ子供一人もゝてゐる四人の家庭で教育  
 費 街灯の費用とか 塵埃の処理 し尿の処理 ありい  
 は専任金等 こういうもの下合計すると一世帯六千五百  
 円という数字がでる そのほか今領内してあります国民  
 健康保険が四千七百円かゝる また国民年金が四月か  
 ら支給の予定になつてゐる これを三人あつても年々して二  
 千円かゝる こういう今申しさういふいろいろの費用が  
 一万三千二百円というものが住民税所得税以外にでてくる  
 こういうことで非常に市民生活の費用が高騰してゐる  
 こういうところ国民健康保険に一般の財源をふれるといふ  
 ことも困難でありましてこの料金の軽減ですべし  
 れに石割折し難いといふのでありますすがまうに強い運動を  
 積極的になつていきたいと思います のうな点でせう

市長さんにお頼いしその熱意のほどで市民にお聞かせ願いたいと思います。

市長田村利男君は国民健康保険の問題です。今日日本における相当大きな論点の中心部でござります。問題でござります。これに政府はあきまきまでも解決の道がない大きなかたでござります。けれども市長といつては、こういう問題にござります。市長会議にござります。極端にこれを排撃してござります。さうくばうんに健康保険の診査費というものは一名のうち五人は医者である。医者もそれもうかうわけです。かうわけ——同業者として希望しているわけでございます。また厚生省も、いふ果のいわゆる休養施設というふうな莫大の金に健康保険料をとると、金の中心は旭山荘のよう健康保険の事務に従事している人のために費が

箱根でござい、熱海でござい、各所へ、とある、これば  
 現状であり、そうい、たものば、た、ならば、あ  
 らいは、三分の一は、安くなる、見事である、こ、うい、う、う  
 な、観、点、に、立、ち、ま、す、と、私、は、市、長、会、に、お、ま、さ、す、と、強、く、発  
 言、し、て、ま、す、と、例、え、ば、診、査、料、の、問、題、を、け、に、つ、ま  
 ず、と、も、今、ま、で、は、三、月、六、十、美、で、あ、る、と、わ、け、り、で、ご、ま、い、ま、す、と  
 ぶ、し、れ、と、果、つ、屎、腹、協、議、会、の、団、体、か、う、五、月、に、値、を、下、げ、て  
 く、れ、と、こ、う、い、う、強、い、要、請、を、あ、る、と、わ、け、り、で、ご、ま、い、ま、す、と、  
 こ、れ、も、市、長、会、に、お、ま、さ、す、と、一、つ、つ、下、に、は、わ、つ、り、ま、す、と、  
 せ、め、て、四、月、で、妥、協、し、て、く、れ、と、い、う、よ、う、な、こ、と、も、言、う、と、参  
 り、ま、す、と、き、れ、は、町、村、側、が、妥、協、し、ま、す、と、な、が、市、長  
 会、は、断、固、と、し、ま、す、と、り、ま、す、と、わ、け、り、で、ご、ま、い、ま、す、と、  
 一、ま、す、と、今、お、屎、腹、協、議、会、の、反、面、と、な、は、手、下、か、え、ま、す、と、  
 と、市、長、会、の、中、の、う、今、ま、で、二、日、市、場、旭、市、長、の、二、人、が、参



負になつていゝが今では千葉、銚子、館山、木更津、茂原、  
四田、勝浦各市長下加えて八人おれの方の委員になつて  
くれといつて買収だか、つたというふうな言葉にもな  
るわけでご存じです。そうして今後まゐるべき場  
合に於いて戦つていくというのにおわけの立場でありま  
して市長の立場として医師の立場からしてても  
健康保険料は確かに高い。しかしその保険料とい  
うものは市役所に入らず、医者に入らず事務費に  
使われている。この事務費がそれほど必要ならば  
国家が当然ですべきであるという私の考えの主張  
で今後尊重していくつもりでございます。で御期  
待下さい。頼みますと思ひます。

○ニ。養教生四七郎君先ほど、関係運賃内ですが市民  
税の問題です。が市税が約一億五千万に對して繰越

滞納分過半を繰越金に下り五百三十万である。しかも先月との審査委員の報告によりますと市税の未済が約三千五百万円ということになる。少く見積りていゝるのり低く、すばいゆゑあまり少く見積りていゝるのでは無いかと思ふ。またあつた方の滞納整理はこの位に入らないうことになれば、これはいゆゑ正直者が馬鹿下みろ、という結果を生ず。それに對して市長さんのほうより、御答弁について、さうと思ひます。それともう一つ先月と配はつた、増徴計算書、これは参考になります。さういふ減価却が六十八万ある。この償却というものは、いかに充てたのか、それについて簡単に御説明願ひたいと思ひます。

市長(田村利男君) 過半見積りでないかという問題ですが、市の予算というものはあくまでも確定額のもつとたてゐるの

がモットーであるわけでありまして予算下とてきいて  
それ以下へ収入で、たう市としてほとんどもない大間違  
いになるというのと下恐れまして確実なとれるもの  
下編成していかれけでございまして決して初めから追  
加予算とするわけなく、或深くと、こおくとそう  
いう気はさうくない、金力では格て二百万三百万余計  
いゝきまして、追加予算するやう意志でございませ  
す、はあバラニスエートの問題でございまして、課長下  
して答弁させていただきます。

。商工水産課長（羽山彦雄君）お答えいたします。

建物におきまして二十九万一千円、機械装置におき  
まして残額へ約三十万下償却というわけでござい  
ます。

。二番目、川佐太郎君）委員長長けり、め、委員各位の労苦下

多とするものであります

こゝで私お尋ねいたしますことは消防の庁舎がでるのです。これが千五百万起債にふるといふことになつております。が、この起債はどこから求めるか、またいかなる条例であるか、さうに確實に起債がとれるという自信があるかどうか

第三は――といふ――健康保険の保険料の問題です。これは先日もちよゝと申しさうき――が何と申――ても現在では非常に生活費がかさふと従いまして家族が多い人は非常に苦しい。これに私身下も、体験してあります。こゝでお尋ねしたいことはもちろん条例によつて定められてゐるのであります。から条例を改めなくてはいいけなひ、とこゝでいかにして改めるかと申――ますと人数割りの

一人當りのウエイトが軽くして、そうして一戸當りとか  
あるいは所得によつて、と必ずというウエイトが重くすると  
いうことが現実。安下見の場合、安下見ではないかと考  
えるのであります。すが、當るにはその意思ありや否や  
を尋ねます。

○三五 鈴木市蔵君 今、御質問でございまして、その  
問題は、私執行部であります。人から受けていまして、  
それは、當るから、と願ひます。

○保険課長(神作啓次郎君) 回答いたします。

現在、保険料は、条例によつて、さうとうなわけでござい  
ます。が、その中で、今御質問でございまして、が、被保険者  
の均等割が、現在のところ、百分の三五、世帯割が、百分  
の一五、というところになつて、あります。これは、おさうく  
国民健康保険の趣旨の、と、りまして、要するに、保

險は保険者一人というもので、その基本において、結る  
 人数が多ければ割合が高くなる。こういうことで均  
 等割というので三五というもので標準にいたつてはな  
 いかと思つてあります。三六年の賦課は四月一日で  
 ございまして本年は現在、条例通り賦課をさせて  
 いたつてございまして本年は住民税の何かの改正がど  
 ろいまして、その中でも今後研究して参りたいと思つて  
 あります。

・総務課長（山口実君）消防債の千五百万について御説明申  
 してあげます。

この起債は単独事業のもとに固まらず各果に配付され  
 てくるものでございまして、本年はまたその段階でない  
 関係上、この額もわづなしいけれども方針というこ  
 として、まあ千五百万の線に到達するようにな

努力していく覚悟でございす。幸ひなしてワク

が多くあればさうに多く要求したいと思ひます。

議長（山本 田中 君）以上も、委員長報告に対する質疑  
疑下終りなと思ひます。これに御異議ございませ  
るか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（山本 田中 君）御異議なしと認めます。

よ、て質疑は終了いたす。

おはりのいらす。本案に対する討論はこれ下  
有異すること御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（山本 田中 君）御異議なしと認めます。

よ、て討論有異と認めます。

これより議案第三四号乃至第三九号予算案下一括

して採決いたしました。

本予算案に於いて委員長報告はいずれも原案可決であります。

本予算案に委員長報告通り決定することへ賛成の諸君の御起之下求めます。

(起き全員)

議長(山本昇君)起き全員よ、て議案第三四号乃至第三九号予算案は原案通り可決されました。

おはりのいります。本定例会に付議されました

議事は以上もって議了されました。よ、て会議規則第七条の規定により本日もって閉会といつてます。ことへ御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(山本昇君)御異議なしと認めます。



よ、三月定例会は本日下も、内会することにし  
て、

午後四時三十分内会

右会議へ次第ヲ録し、以て署名す、

昭和三十六年三月二十五日

館山市議会議長

山

小

田

同

署名議員

山

口

康

同

三

澤

節

